

市民と福祉をむすぶ

かけはし

第189号

2020
3月

編集発行／社会福祉法人養父市社会福祉協議会 〒667-0022 養父市八鹿町下網場320（地域交流センター「福祉の杜」）
令和2年3月13日発行 ■電話 (079) 662-0160 ■FAX (079) 662-0161 ■E-Mail :info@yabu-shakyo.jp
■ホームページ http://www.yabu-shakyo.jp/

身近な地域で助け合いを広げる



くらし安心サポーター フォローアップ研修

▲実践発表で「一人ではできないことも仲間と一緒にできることもあります。福祉連絡会とも協力できれば更に活動が広がり安心して暮らせる地域になると思います」と、多くの人と協力していく大切さを話す1期生の田村すみさん（森）

2月21日、八鹿公民館で「くらし安心サポーターフォローアップ研修」を開催し、修了生30人が参加しました。
この研修は、だれもが住み慣れた地域で、安心して元気に暮らし続けるために、生活のちよつとした困りごとをお手伝いする応援者としてサポーターを養成したものです。これまで2年間で60人が修了生となり、地域で活動しています。

この日の情報交換会では、1期生2人から活動の実践発表があり「特別なことをするのではなく、地域の行事や普段の人の関わりのおかげで、『お互いさまの気持ちで』自分にできることをしています」と、心がけていることを紹介していました。グループワークでは「仲間や区の役員との協力や連携が必要」「人と人とのつながりを大切に信頼関係を築きたい」「障がいのある方の見守りをした」と、活動への課題や悩み、今後の活動について様々な意見が交わされました。

▶グループワークでは、今取り組んでいる活動や悩みなどを話し合い、共感したりアドバイスをしたりしていました（11月21日、八鹿公民館）

新規
事業

「福祉学習ボランティア養成講座」を実施

地域に、子どもたちと、
共に生きる」を広げよう



▶二人一組で行われた車いす体験。車いすに乗って移動して感じた課題や、その改善のために必要なことを話し合いました。(1月22日、養父地域局前)

養父市社会福祉協議会では、福祉や人権、共生社会についての関心を深め、地域や学校で、ともに学び合う「福祉学習」をすすめていく人材を養成することを目的に、「福祉学習ボランティア養成講座」を実施しました。

1月～2月にかけて行った全4回シリーズの講座を15人が受講。さまざまな学びや交流を通して、「福祉 (=ふだんのくらしのしあわせ)」や「誰もが自分らしく生きる社会」について改めて考える機会となりました。

「福祉学習」で
広げていきたいこと

第1回講座(1月15日開催)では、但馬長寿の郷、理学療法士の中西智也氏から「ともに生きる」を広げる福祉学習、養父市教育委員会、指導主事の信部達夫氏から「市内小中学校で取り組む福祉学習について」のテーマで講義がありました。それぞれ、福祉学習をすすめるうえで大切にしたい考え方について話しました。

中西氏は「誰もが助け、助けられる関係が大切」と説明。信部氏は「思いやる心」も大切だが、さらに「思い合う心」へ。「福祉の学びを地域の中で生かせるようになってほしい」とまとめました。

車いす体験を通しての
気づき

第2回講座(1月22日開催)では養父公民館周辺で車いす体験を行いました。この体験学習は障がいがあることによる不便さを知るだけでなく、その背景にある建物や制度、人や社会の意識などの環境に目を向け、気づきを社会の改善や自身の行動にむすびつけるこ



▲アイマスク体験で児童を手引きする受講生(=1月31日、養父小学校)

とを目的に行いました。

体験後の話し合いでは「介護をしていた時に車いすを押していたが、自分が乗って初めて気づくことが多くあった」「体験学習を、学校だけでなく職場や地域で行い、多くの人がお互いの配慮や支援について考えられたらいい」などの意見がありました。

当事者や子どもと
一緒に取り組む

第3回講座(1月31日、2月7日の2回に分けて実施)は、学校で実際に行われている福祉学習の場に参加しました。

養父小学校の協力のもと、4年生のアイマスク体験と、視覚に障がいをもつ方との交流会に参加。大人と子どもが一緒に取り組むことで得られる、学びの相乗効果も

あり、また、**当事者の言葉だから** **こそその現実味に**、多くの感銘と共感を得ることができました。

自らの学びを 地域へ

最終回の第4回講座（2月13日実施）では、元竹田小学校校長で、各地で人権学習会等の講師を務める森田千鶴氏による「福祉学習からの広がり」を聞きました。

森田氏は、「人権とは何か」をもとに、多様性の尊重、他者への共感、分かり合おうとするコミュニケーションなど、これまでの学びを総括し、福祉の学びを「**自分事として**」「**身の周りのこととして**」「**多くの人に**」つないでいくことが重要と話しました。最後に、参加者でグループワークを行い、「私たちにできる福祉学習の活動」を話し合いました。

「家庭や地域、趣味の集まりなど、身近なところから、今回感じたことを話し、伝えたい」「いろいろな世代やコミュニティと交流し、触れることの大切さを知った」「まずは助け合い活動から」「仲間と一緒になら活動できそう」など、多くの意見がありました。

米里区
福祉連絡会

多可町から視察 地域づくりを 意見交換



1月29日、多可町で地域の助け合い活動について学ぶ講座受講生と多可町職員、社協職員32人が、米里区の小地域福祉活動の視察に訪れました。

会場の米里体験交流センターでは、多可町の取り組みが紹介された後、養父市社協職員が住民と一緒に進める第3次地域福祉推進計画の説明や市内の助け合い活動な



▲米里区の取り組みについて説明するみなさん（右から上田区長、岡村副区長、ひまわり会の室見さんと米田さん）



▲米里区の取り組みに耳を傾ける多可町のみなさん（＝1月29日、米里体験交流センター）

どを説明しました。

米里区の上田得二区長は、区の特徴として年間行事が多いことをあげ、伝統行事と福祉活動が活発なことが自慢と話し、福祉委員や女性ボランティアグループひまわり会が中心となり行う、ふれあい喫茶、高齢者への友愛訪問活動などの取り組みを紹介しました。

意見交換では、地域の伝統行事の継続の秘訣や、活動で心掛けていることなどの質問がありました。参加者からは「多可町の課題と共通するところも多く、よく理解できました。福祉委員の役割、活動が重要だと感じました」「福祉防災マップづくりについて取り組みもうと思っていたところで、マップづくりを通じて区内のことを色々と話していきたいと思います」などの意見が聞かれました。

令和元年度

賛助会員。

特別会員のお知らせ

令和元年11月1日～

令和2年1月31日までの加入分

（順不同・敬称略）

● 賛助会員

- 【10口】▽上垣政雄▽匿名1名
- 【5口】▽小泉智恵子▽藤原たま多【3口】▽圓山康憲▽村上和子▽西垣幸彦▽安達英一郎▽安達博之▽中尾たね子▽中尾幸郎▽匿名3名【2口】▽栃尾正幸▽尾崎正直【1口】▽上垣宜之▽匿名1名

● 特別会員

- 【20口】▽和光印刷株式会社
- 【10口】▽福井建設株式会社▽正垣耳鼻咽喉科クリニック▽株式会社建工社▽株式会社本建設【5口】▽えんどう眼科▽但馬信用金庫 広谷支店▽薬局きらら・薬局あざの▽中島精米所【3口】▽旬真愛【2口】▽たじま農業協同組合 八鹿支店【1口】▽株式会社南但魚菜

賛助会費と特別会費は、年間を通じて受付している**所得税法上の寄附金控除及び損金算入対象の寄附金**です。

ご協力よろしく申し上げます。



今月の地域だより



年末年始地域ふれあい事業

栗ノ下区で味噌づくり

2月16日、栗ノ下公民館では同区の井原弘志さん、とよ子さん夫妻の指導で「味噌作り」が行われ20人が参加。昔から伝わる味噌の作り方を学ぶことで、添加物のない安心な食品の大切さや食文化、手作りの楽しさなどを体験する催しで、今年で6回目となります。



▶3時間炊いた大豆に塩と糀を混ぜ込む参加者（11月2月16日、栗ノ下公民館）

井原弘志さんは「同じ分量で作っても、練り具合や置く場所の気温や状態でそれぞれ家の味が違います。これが手前味噌です。皆さんも自分の家の味を作ってください」と説明。

参加者は、塩と糀を一人分ずつ測り分けたり、炊きあがった豆を味噌すり機にかけてミンチ状にしたりして、笑い声が響くにぎやかな作業となりました。

小畑良子さんは「豆をこねるのは重労働でしたが、みんな

と一緒に作ったので楽しかったです。甘みのあるおいしい味噌ができるのが楽しみです」、また、福祉委員代表の小畑成美さんは「参加者全員で協力して楽しく行うことができました。これからも多くの方に参加して喜んでもらえる催しを計画します」と話していました。



▲作業終了後のティータイム。「次は何をしようか」と話が弾みました

子育てサロン・放課後プレパークの案内

- 子育てサロン高柳
 - 日時 3月18日(水)
 - 10:00～11:30
- 子育てサロンそよ風
 - 日時 3月23日・30日(月)
 - 4月6日・13日(月)
 - 10:00～11:30
- 子育てサロン関宮
 - 日時 3月23日(月)
 - 10:00～11:30
- 子育てサロン伊佐
 - 日時 4月6日(月)
 - 10:00～11:30
- 子育てサロンすくすく
 - 日時 4月7日(火)
 - 10:00～11:30
- 多胎児サークルピーナッツ
 - 日時 4月10日(金)
 - 10:00～11:30
- 関宮放課後プレパーク
 - 日時 4月24日(金)
 - 14:30～16:30
- 大屋放課後プレパーク
 - ※4月はお休みします
- 春休みプレパーク
 - 日時 3月28日(土)
 - 10:00～15:00

※新型コロナウイルスの感染防止のため中止

兵庫県ボランティア・市民活動災害共済のご案内

令和2年度のボランティア保険の受付が始まりました。ボランティア活動中の万が一の事故に備え、保険に加入しませんか。

- 保険料
 - 市民活動災害共済プラン
 - 1名につき 500円
- 加入期間
 - 令和2年4月1日～令和3年3月31日
 - ※4月1日以降の受付の場合、翌日からの加入になります
- 【受付窓口・問い合わせ先】
 - 養父市社会福祉協議会
 - 電話：079-662-0160
 - ※各支部窓口でも受付しています。

今月の かけはしさん



瀬本 千晴さん
(大塚)

市内で福祉委員活動が始まり、区で最初の委員長を拝命して以来十余年、ふれあい喫茶が定着し、今年度も無事に4回開催されました。

室内で身体を使ってできるゲームや、絵本の読み聞かせ、体操や茶話会等、年々の担当委員さんの工夫により、子どもさんからお年寄りの方々まで、地域の皆さんの交流のきっかけとなっています。私自身にとっても、日頃の運動不足解消や、話のできる良い機会となっています。

これからも委員さん方が楽しみながら無理をせず、長く続くことを願っています。

善意銀行だより

令和2年1月16日(令和2年2月15日) (敬称略)

預託者のご了承をいただいた方のみ寄附金額を掲載しています。詳しくは事務所までお問い合わせください。

- ▼**香典返し**
- 大江 故藤原 敏夫 30,000円
- 万々谷 内田 澤子 50,000円
- 下町 守本 仁 30,000円
- 中 岡 和巳 30,000円
- ▼**玉串料お返し**
- 森 伊藤千佳比 30,000円
- ▼**亡母供養**
- 大杉 栃尾 忠司 50,000円
- ▼**善意の寄附**
- 匿名389回 5,000円
- ▼**物品の寄附**
- 米里 米田 義夫 未使用はがき
- 向八木 田中 清美 未使用はがき
- 川西 高木 經吉 里いも、大根
- 長野 岡山千代子 バスタオル、タオル、ふきん、風呂敷ほか
- 関宮 中尾金物店 釘、たこ糸、火箸、サイ

認知症カフェさああん

令和2年度の開催予定

認知症の方や介護されている方などが参加し、ほっと一息つける語らいの場として、同カフェを毎月第2木曜日に開催しています。

【開催日】

4月9日 5月14日 6月11日 7月9日
8月6日 9月10日 10月8日 11月12日
12月10日 1月14日 2月4日 3月11日

※8月はお盆、2月は祝日のため第1木曜日に開催します
10:00~15:00 (時間内の出入りは自由です)

【ところ】

地域ふれあいの家「たまり場」
養父市八鹿町八鹿664-1

【問い合わせ先】

養父市社会福祉協議会 電話：079-662-0160

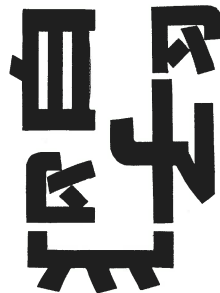


- 紙おむつ、未使用はがき、衣類、せつけん、未使用切手
- ▼**フードバンク事業**
- ・コープこうべ
- 共同購入センター但馬
- 衣類、フライパン、菓子、健康食品、餅、餡、大豆、飲料、コーヒー豆、麺類、乾物、野菜、調味料、レトルト食品、せつけん、ゴム手袋ほか
- ◆**寄附金 22万5,000円**
- ありがとうございました。**

図書カードが当たる!

分割 パズルパズル

バラバラになった漢字を組み合わせて漢字2文字の言葉を作ってね。
ヒント 2ページ



■**応募方法** はがきまたは、FAXに答えと住所、氏名、ふりがな、年齢、電話番号、「かけはし」をご覧になったご意見・ご感想をお書き添えの上、ご応募ください。
正解者の中から抽選で5名さまに図書カードを贈ります。

■**×切** 令和2年3月31日必着

■**応募先** 〒667-0022

養父市八鹿町下網場320

「福祉の社」内

養父市社会福祉協議会

FAX 662-0161

★前回の答えは

『契約』でした

太田垣隆晴さん(小山)

田村 操さん(森)

澤山たえ子さん(広谷)

生田喜代美さん(奥米地)

橋下 逸子さん(安井)

以上5名の方が当選されました。
おめでとうございます。

総合相談所のご案内

いずれも相談無料

心配ごと相談・結婚相談 13:30～16:00

身の回りの困りごとや結婚に関する相談はありませんか？

- ◆ 3月27日(金) 関宮ふれあいの郷
- ◆ 4月3日(金) 地域交流センター「福祉の杜」
- ◆ 4月10日(金) 社協養父支部
- ◆ 4月17日(金) 大屋保健センター

◆ W E L (うえる) ♥ 縁 (えん) ♥ 友 (とも) ♥ 婚 (こん)
※毎月第2・第4日曜日に開設する結婚相談 (無料)

- 日時 4月12日(日)、26日(日) 13:30～16:00
- 場所 ウエルシア養父上箇店「ウエルカフェ」

弁護士による無料法律相談 13:30～16:30

先着6人の予約制となっていますので、事前に電話でお申し込みください。

- 期 日 令和2年5月20日(水)
- 場 所 地域交流センター「福祉の杜」
- 相談時間 1人30分程度
- 申し込み先 養父市社協本部 ☎079-662-0160

くらしの法律相談 8:30～17:00

消費者被害や訴訟問題、成年後見制度、日常生活自立支援事業などの相談を社協窓口で受け、担当弁護士に伝えて問題解決のお手伝いをします。

相談は、毎週月～金曜日までの常時、本部及び各支部で受付けています。



うちげえの

ゆうと
中村 悠人ちゃん 6歳1カ月(中央)

ゆず
結珠ちゃん 4歳3カ月(左)

ももか
百花ちゃん 2歳7カ月(右)
(葛畑・兄妹)



お母さんの理恵さんに聞きました♪

◆名前はどうにつけましたか？
いつも明るく笑顔のたえない元気で心の優しい子になりますようにと願いを込めてつけました。

◆今、興味をもっていることはなんですか？
3人共とにかく外で体を動かすのが大好きで、公園によく遊びに行きます。雪かきや畑仕事も手伝ってくれます。

◆ご両親から一言メッセージ
兄妹仲よく元気に育ってくれますように願っています。周りの人にも優しくできる子になってほしいです。

まちのボランティアSun's

～ さくら会 ～

(大屋支部)

私たちのまちのボランティアグループや市民活動団体等を紹介するコーナーです。

代表 奥田慶子 / 会員数 7人 / 平成16年4月結成

* どのような活動をしていますか？

『ふれあい郵便事業』の書き手ボランティアとして毎月1回集まり絵手紙を書いています。また、9月の高齢者福祉月間には、特別養護老人ホームおおやの郷を友愛訪問し絵手紙のプレゼントを手渡すほか、手話歌やレクリエーションをして交流しています。

* 結成のきっかけは？

平成15年の大屋町社協主催「ふれあい郵便書き手ボランティア養成講座 絵手紙教室」の修了生が、絵手紙を通じて町内の高齢者の皆さんに楽しんでほしいとの思いからグループを結成。絵手紙を学びながら活動を続けています。

* 活動での喜びは？ 悩みは？

絵手紙を受け取られた方がとても喜んで下さること、また、続けて取り組むことで自分の生活の張り合いになり、高齢になっても役に立つことができると思えることが喜びです。会員数が少なくなって活動がしにくい状態

になっていることが悩みです。

* 今後の抱負は？

高齢者の方に喜んでもらえることで活動にやりがいを感じ自分たちの力にもなっています。絵手紙は年齢や絵の上手下手に関係なくできる活動なので、さくら会の仲間が増えることを望んでいます。



▲月1回メンバーと顔を合わせ、一緒に楽しい時間を過ごすことも喜びです (=2月7日、大屋保健センター)



この広報紙は共同募金配分金が使われています。

⑥ 第189号 かけはし